

# ぽっかぽか きりん組 6月

先日の遠足では、お弁当や水筒のご用意ありがとうございました！保護者の皆様のご協力のおかげで笑顔いっぱい過ごすことができました♪ 梅雨に入り雨の日も増えますが、室内でも楽しく過ごせる活動を取り入れながら、季節の変化を感じていきたいと思います！

ぶんがく

## 新しい取り組み 【文学】

### ～物語の楽しさや言葉の美しさを感じよう～

今年度のきりん組では、文学を保育の一環として取り入れています。文学には、『積み重ね話・詩・素話・語呂合わせ・人形劇』など様々なお話があります。どれも文字を用いずに絵や言葉のみで構成されているのが特徴です。そのため、ねらいも文字を読み書き出来るようになることではありません。

～大切にしたい3つのねらい♪～

1. 語彙の獲得と産出…日常を過ごすだけでは中々聞きなれない言葉も文学の中にたくさん出てきます。子どもたちには言葉の意味や使う場面などを知らせたりしながら、語彙のインプットとアウトプットをしていきます。
2. 共感力と他者理解…登場人物の気持ちを想像することは他者の心の理解につながり、登場人物に自分を投影することで気持ちを整理することや折り合いをつけるきっかけにもなります。
3. 論理的思考力の基礎…物語の展開（起承転結）を楽しむこと・話を順序だてて組み立てることで、自然と物事の因果関係を把握することや思考の整理に繋がります。

きりん組では、現在積み重ね話・人形劇が中心。実際にお集まりでやってみると、さすが子ども達のフレッシュな脳みそ！ 大人がまだうろ覚えでも、たった数回で話の内容を覚えてしまいます。子どもたちの聞く意識・新しいものへの探求心は底知れないですね！遊びとして提供すると、子どもたち同士でカードを並べて話の内容を言い合ったり、人形を動かしながらオリジナルのお話を作ったりして楽しんでいます💎 子どもたちの物語に出てくる言い回しや言葉遣いは大好きなアニメのセリフ・ご家庭での会話などなど、いろんなところから影響を受けているんだな～と、それぞれ個性がありとても面白いです（笑）身近な存在である我々が何気なく使っている言葉遣いも気を付けなければいけませんね💧

物語・言葉の楽しさや面白さに触れることはもちろんですが、ちゃんと取り入れるべき科学的根拠もあるんです！ 文学の活動を通して、話の内容を記憶することや言葉だけで物語の情景をイメージすることは、大切な脳の機能である『海馬』という器官の発達に大きな影響を与えます。乳幼児期の海馬は、記憶を司る重要な脳器官です。特に6歳までの成長が子どもの未来を大きく左右します。この海馬は短期記憶を長期記憶に変え、新しい情報を覚えたり、過去の経験を整理して未来の行動に活かしたりと重要な役割を担っています。研究によると、幼児期に海馬が急速に成長し、この時期の刺激が記憶力や学習能力、さらには感情の安定にも影響を与えることが分かっています。脳の発達も促しながら物語や言葉の楽しさ・美しさを感じてもらえるよう、年間を通して取り入れていきたいと思っています！今後実践した内容や子どもの姿をホワイトボード等で紹介していきますので是非ご覧ください♪